

予防接種名		接種状況 (接種後に回)	2 カ月	3 カ月	4 カ月	5 カ月	6-8 カ月	9-11 カ月	12-15 カ月	16-17 カ月	18-23 カ月	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	7 歳	8 歳	9 歳	10 歳	11 歳	12 歳	13 歳	14 歳	15 歳	16 歳		
不活化 ワクチン	小児用肺炎球菌	初回 □ □ □ 追加 □	1	2	3				4																			<ul style="list-style-type: none"> <li>左表は標準的な接種スケジュールを掲載しています。小児用肺炎球菌は、接種を開始する年齢が生後7カ月に至った日の翌日以降の場合は、接種回数が異なります。</li> </ul>
不活化 ワクチン	B型肝炎	3回 □ □ □	1	2		3																						<ul style="list-style-type: none"> <li>接種できる期間が短いため、生後2カ月を過ぎたら、できるだけ早く接種を開始しましょう。</li> </ul>
生(経口) ワクチン	ロタウイルス	ロタリックス (1価)	2回 □ □	1	2																							<ul style="list-style-type: none"> <li>ロタウイルスワクチンには、ロタリックス(1価)とロタテック(5価)があります。(ワクチンの種類によって、接種回数が異なります。)</li> <li>初回接種は出生14週6日後までに接種してください。</li> <li>出生15週0日後を過ぎた場合は、腸重積症のリスクが増加するため、接種はお勧めできません。</li> </ul>
		ロタテック (5価)	3回 □ □ □	1	2	3																						
不活化 ワクチン	五種混合(DPT-IPV-Hib)	1期初回 □ □ □ 1期追加 □	1	2	3				4																			<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度より五種混合ワクチンが定期接種となります。</li> <li>五種混合ワクチンの標準的な接種年齢は市ホームページ等でご確認ください。</li> </ul>
生(注射) ワクチン	BCG	1回 □				1																						<ul style="list-style-type: none"> <li>標準的には生後5~8カ月までに接種します。</li> <li>接種できる期間が短いため、受けもれないようにしましょう。</li> </ul>
生(注射) ワクチン	麻しん風しん(MR)	1期 □ 2期 □							1								2											<ul style="list-style-type: none"> <li>1期接種の対象年齢は1歳、2期接種は5歳から7歳未満で小学校就学前の1年間です。</li> <li>接種できる期間が短いため、受けもれないようにしましょう。</li> </ul>
生(注射) ワクチン	水痘(水ぼうそう)	2回 □ □							1		2																	<ul style="list-style-type: none"> <li>1歳から3歳未満で最低3カ月(標準6~12カ月)の間隔を置いて2回接種します。</li> </ul>
不活化 ワクチン	日本脳炎	1期初回 □ □ 1期追加 □ 2期 □																										<ul style="list-style-type: none"> <li>標準的には1期初回(2回)は3歳、1期追加は1期初回からおおむね1年あけて接種します。</li> <li>平成7年4月2日~平成19年4月1日生まれの方は、特例により20歳未満までの間に接種できます。</li> </ul>
不活化 ワクチン	二種混合(DT)	2期 □																										1
不活化 ワクチン	HPV(ヒトパピローマウイルス感染症)	2回 または 3回 □ □ □																										<ul style="list-style-type: none"> <li>対象は小学6年生~高校1年生相当の女子で、標準的には中学1年生相当の間に接種します。</li> <li>ワクチンには2価ワクチン・4価ワクチン・9価ワクチンの3種類があり、ワクチンの種類によって接種回数が異なります。</li> </ul>

定期接種の対象年齢



標準的な接種年齢  
(数字は接種回数)

★「定期接種の対象年齢」内であれば無料で接種できますが、病気にかかりやすい時期を考慮された「標準的な接種年齢」での接種をお勧めします。できるだけこの期間の早い時期に受けましょう。

★生(注射)ワクチン接種から次の生(注射)ワクチンを接種する場合は、4週間後の同じ曜日から接種できます。なお、医師が特に必要と認めた場合は、同時に2種類以上の予防接種を行うことができます。

★HPV(ヒトパピローマウイルス感染症)ワクチンのキャッチアップ接種につきましては、こども健康センター(TEL 078-918-5656)へお問い合わせください。